

祝



受賞に際して

◀真鍋博士の母校である三島高等学校の書道部が、同高を代表してお祝いのメッセージを揮毫しました。博士の生まれの郷である「新宮」をイメージした色鮮やかな緑色の山を背に、「複雑性を紐解き未来を予測する果てなき科学の基礎を築く」という敬意のメッセージが揮毫されました。揮毫されたお祝いのメッセージは、市役所市民交流棟に展示しています。



真鍋博士のノーベル物理学賞受賞を祝い、市役所市民交流棟のほか、新宮窓口センター、霧の森、新宮小・中学校、三島高等学校に「祝 2021 ノーベル物理学賞 真鍋淑郎博士」などと書かれた懸垂幕が掲げられています。

—自分の好きなことをしっかりと—

真鍋博士の受賞の報は新宮を駆け巡り、新宮小・中学校の子どもたちは「ノーベル賞！」と大興奮。小学6年生の中野怜星さんは、「新宮出身の人がこんなすごい賞をとるなんてすごい！これまではノーベル賞の発表があっても、現実離れた出来事だと感じていました。僕は小さい子どもが好きで、将来は幼稚園の先生になりたいと思っています。博士のように、自分が好きなことをしっかりと頑張っていきたいです」と目を輝かせ、中学3年生の内田琴羽さんは「クラスでは博士のノーベル賞受賞の話でもちきりです。私も真鍋博士が学校の先輩であることを誇りに思います。私の将来の夢は、医療関係の仕事について人の役に立つことです。博士の受賞を通じて、ひたむきに努力し続けることの大切さを実感しました。私も夢に向かって努力し続けたいです」と真剣なまなざしで話しました。



喜ぶ新宮小・中学校の子どもたち

—私たちも高い目標を目指して—

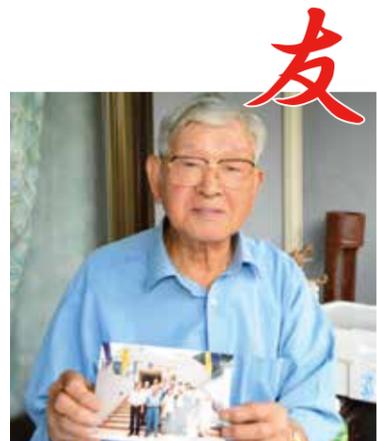
真鍋博士の受賞に、博士の母校である三島高等学校の生徒たちは驚きと感動に包まれました。生徒会長の大西真奈美さんは、「今までノーベル賞のことを遠い世界の出来事だと考えていましたが、真鍋博士のように努力を続ければ、私たちもいつか高い目標を達成できるかもしれないと思いました。博士から勇気をいただきました」と声を弾ませ、理系クラスの青野柚希さんは「三島高等学校の卒業生からノーベル賞受賞者が出たことは、本当に驚きましたし、感激しました。自分も生物やウイルスに関して勉強して、新しい治療薬を開発したり、電気の代わりになるような環境に優しく、まったく新しいエネルギーを生みだしたり、真鍋博士のように地球環境や人の命を守ることができる人を目指して、しっかり研究をしてみたいです」と感動しきりに話しました。



新聞を見る三島高等学校の後輩たち

—“しゅくやん”おめでとう—

子どもの頃は「しゅくやん」と呼んでいましたが、しゅくやんは当時からとても勉強熱心で、負けず嫌いでした。2001年に新宮で小学校の同級生が集まって以来、20年ほど会っていませんでしたが、今は東京にいるかな、それともアメリカで頑張っているかなと思いついているところにノーベル賞受賞のニュースが飛び込んできて、本当に嬉しかったです。新宮の同級生がこんなに素晴らしい研究者であることが誇らしいですし、子どもたちの励みになると思います。また、テレビで見る姿がとても元気そうでそれも嬉しいです。もし話ができれば「しゅくやん、おめでとう」と声を掛けたいですし、もし会えたら抱き合って喜びたいくらいです。やっぱり、しゅくやんはすごいな。



同級生の大岡武重さん

友

記念特集



写真：AP/アフロ

本市出身 真鍋淑郎博士 ノーベル物理学賞受賞

THE NOBEL PRIZE

本市出身の真鍋淑郎博士が2021年ノーベル物理学賞を受賞しました。二酸化炭素濃度が地球温暖化に影響することをいち早く問題提起し、地球の気候をコンピュータを用いてシミュレーションし、再現する方法を開発して、気候変動の予測に関する研究を先駆的に開拓したことなどが高く評価され、ノーベル賞の選考委員会は「現代の気象研究の基礎となった」と述べています。このたびの真鍋博士の受賞によって、日本人のノーベル賞受賞は外国籍の方を含め28人。物理学賞としては12人となりました。気象学の分野でノーベル物理学賞を受賞することは極めて異例のことです。世界を驚かせました。

真鍋博士の研究によって、人間の活動が活発になるにつれて大量に放出された「温室効果ガス」が、地球全体の平均気温を急激に上昇させていることが世界の常識となりました。「地球を救う救世主」ともいえる真鍋博士の受賞を機に、私たちも気候変動問題を改めて見つめ直してみたいものです。真鍋博士、ノーベル物理学賞受賞の快挙、本当におめでとうございます。

2021年ノーベル物理学賞受賞記念 パネル展「祝ノーベル賞 真鍋淑郎博士」

真鍋博士の受賞を祝し、博士が生まれ育った昭和初期の新宮の光景など、博士の足跡を追う記念パネル展を市役所で開催しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ



博士宅の脇の道を歩く子どもたち

【プロフィール】
真鍋淑郎（まなべしゅくろう）博士
1931年四国中央市（旧新宮村）生まれ。新宮尋常高等小学校から旧制三島中学校（現県立三島高等学校）に進む。東京大学理学部を卒業後、58年同大学博士課程を修了。理学博士。同年渡米し、アメリカ国立気象局で勤務。68年プリンストン大学客員教授兼任。97年に帰国し、地球フロンティア研究システムの地球温暖化予測研究領域の領域長に就任。名古屋大学特別招へい教授も務める。05年からプリンストン大学上席研究員。
【受賞歴】
・ウイリアム・ボウイ・メダル
・ベンジャミン・フランクリン・メダル
・クラフォード賞
・ノーベル物理学賞 など